

第7回 県内技術研究発表会(平成23年10月28日)

	論文題名	所属	氏名	
1	「神門通り線」住民参加による道路整備計画の策定について	出雲県土整備事務所	主幹 高木 清	○
2	環境に配慮した農業用水路の改修	出雲県土整備事務所	企画員 川瀬康雄	
3	和木波子海岸における海岸侵食対策について	浜田県土整備事務所	主任 宇名手環	○
4	みちとまちづくり～沿道区画整理型街路事業とは	雲南県土整備事務所	主任 内部靖史	
5	福野地区落石災害における危機管理対応について	松江県土整備事務所	砂防G課長 仲田達哉	
6	松江工業高等学校整備事業グラウンド造成工事における情報化施工について	松江県土整備事務所	企画員 島津慎次	☆
7	島根県高津川圏域における「林業専用道」の位置づけと今後の展望	益田県土整備事務所	主任 藤原裕之	
8	大社日御碕線中山工区トンネル工事における関係者との調整	出雲県土整備事務所	企画員 荒木伸次	☆
9	島根県治山アドプト制度における活動の一事例について	浜田県土整備事務所	主任 安部 博	
10	下水道の統合計画について	松江市 建設部	主幹 渡部耕輔	
特別 講演	東日本大震災 被災地調査報告	道路維持課	企画幹 森脇和司	-

○ … 優秀賞
☆ … 聴講賞

平成23年度 県内技術研究発表会 日程表及び発表論文の概要

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 開会 | 9:30 |
| 2. 挨拶 | 9:30～ |
| 3. 発表会における留意事項等 | 9:40～ |
| 4. 研究発表会 | 9:45～ |

1	9:45～	<p>【「神門通り線」住民参加による道路整備計画の策定について】 /Ae 出雲県土整備事務所 土木工務部 都市整備G 主幹 高木清、企画員 石倉功史</p> <p>平成25年5月の出雲大社正遷宮を迎えるにあたり、島根県と出雲市は出雲大社の玄関口・勢溜(せいだまり)から南側へ伸びる表参道である「神門通り線」について、住民参加型のワークショップ形式により、官民意見交換しながら道路整備計画策定を行い、にぎわい再生のための、安心して楽しみながら歩ける道の整備を目指している。</p>
2	10:10～	<p>【環境に配慮した農業用水路の改修】 /一般(排水路改修) 出雲県土整備事務所 農林工務部 水利G 企画員 川瀬康雄</p> <p>農業用排水路を改修するにあたり、既設水路内に生息する小動物の生態調査を行い、環境に配慮した施設構造を施工した。農業土木における「環境」の定義と意義、実施した工法の選定方法について述べる。</p>
3	10:35～	<p>【和木波子海岸における海岸侵食対策について】 /一般(侵食対策) 浜田県土整備事務所 土木工務部 河港砂防第2G 主任 宇名手環</p> <p>江津市の海岸保全区域「和木波子海岸」では一部区域では年々侵食が進み、越波による市道の通行止めなど住民生活に影響を与えている。昨年度より新規事業として着手した侵食対策事業について、今までの経緯や対策工法、今後の課題について報告する。</p>
11:00～ 休憩:10分		
4	11:10～	<p>【みちとまちづくり～沿道区画整理型街路事業とは】 /一般(企画・計画) 雲南県土整備事務所 土木工務部 道路建設第1G 主任 内田靖史</p> <p>雲南市大東町中心市街地を東西に走る松江木次線バイパス((都)新庄飯田線)の大東総合センターより東側区間について、沿道区画整理型街路事業による整備を計画する。これは街路整備にあわせてまちづくりを行うもので街路整備は街路事業者(島根県)、まちづくりは区画整理事業者(雲南市)が行う。街路の用地は区画整理事業者が減歩により創出し、補償費は街路事業者が公共施設管理者負担金として区画整理事業者に支払う。街路整備と沿道のまちづくりを同時に進められ、建物移転地も近隣に整備できることから、地域の活力を維持しながら新たな街並みを創出ができる事業です。</p>
5	11:35～	<p>【福野地区落石災害における危機管理対応について】 /一般(危機管理対応) 松江県土整備事務所 砂防G 課長 仲田達哉</p> <p>平成22年7月16日午前2時、松江市鹿島町の福野地区急傾斜地崩壊危険区域で大規模な岩盤崩落災害が発生し、災害発生直後には、松江市から7世帯21名に避難指示が発令された。このため、現地の観測(監視)体制、避難及び連絡体制の整備が救急で必要になるなど、行政機関の危機管理対応が注目されることになった。また、新聞、テレビ等からの関心も高く、マスコミ対応についても慎重な対応が必要であった。当時の対応を時系列で追いながら、その対応の良好点、反省点の検証を発表する。</p>
12:00～ 昼食・休憩:60分		
6	13:00～	<p>【松江工業高等学校整備事業グラウンド造成工事における情報化施工について】 /一般(情報化施工) 松江県土整備事務所 土木工務部 河川港湾G 企画員 島津慎次</p> <p>当工事は、校舎の建替えに伴い旧校舎位置にグラウンドを造成することとなった。25,000㎡を超える造成面積のため、一部の施工に自動制御(敷均し高)を伴う情報化施工を技術提案として施工したので、その効果について発表する。</p>
7	13:25～	<p>【島根県高津川圏域における「林業専用道」の位置づけと今後の展望】 /一般(林道計画) 益田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道G 主任 藤原裕之</p> <p>農林水産省は2009年(H21)に森林・林業再生プランを作成し「10年後の木材自給率を50%とする」目標を掲げた。その重要施策である路網整備の中心として、来年度から本格導入される「林業専用道」について、島根県において先駆的に進められている県単木材生産加速化路網整備事業の現状や、利用者・管理者からのアンケート結果をもとに、「林業専用道」の課題や問題点を考察し、位置づけと今後の展望について発表を行う。</p>
8	13:50～	<p>【大社日御碕線中山工区トンネル工事における関係者との調整】 /一般(トンネル工事における環境対策) 出雲県土整備事務所 土木工務部 道路建設第1G 企画員 荒木伸次</p> <p>大社日御碕線は、県内でも有数の観光道路である。また日御碕地区の唯一の生活道路でもあることから、社会経済への影響も大きく、また関係者の関心も著しく高い。このような状況下の路線において、トンネル工事を施行する際における関係者との調整から得た教訓や、施工の際の工夫について述べる。今後の類似工事現場で参考として頂きたい。</p>
14:15～ 休憩:10分		
9	14:25～	<p>【島根県治山アドプト制度における活動の一事例について】 /Ae 浜田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道第2G 主任 安部博</p> <p>本県では治山施設に対する確に補修・機能強化を図ることで適切な施設管理を実現し、ライフサイクルコストの低減を目的に地域住民等との協働による施設点検の取り組みとして島根県治山アドプト制度を創設した。浜田県土整備管内において、いち早くこの制度を活用し防災意識の向上、行政と地域住民との連携強化を図った事例として浜田市旭町都川地区の活動について紹介する。</p>
10	14:50～	<p>【下水道の統合計画について】 /一般(下水道統合計画) 松江市 建設部 下水道工務課計画係 主幹 渡部耕輔</p> <p>○公共下水道への農業集落排水の統合計画について 【松江市の下水道の状況】、【全国的にみた下水道をとりまく環境・傾向の変化】、【具体的な集排の統合計画事例】、【統合にむけた実務上のハードル】、【適切な維持管理に向けて】</p>
特別講演	15:15～	<p>東日本大震災 被災地派遣報告/災害査定業務 松江県土整備事務所 土木工務部 砂防G 主任技師 小石尚寿 調整中</p>

- | | |
|--------------------|--------|
| 5. 意見交換/聴講賞投票/表彰選考 | 15:45～ |
| 6. 表彰及び講評 | 16:15～ |
| 7. 閉会 | 16:35 |